

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。
お問い合わせください。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FM/AM ラジオ

ICF-T46



* 4 1 4 5 9 4 8 0 7 * (1)

©2009 Sony Corporation Printed in China

保証書

持込修理

品名	ラジオ
型名	ICF-T46

お買上げ日 年 月 日
本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問い合わせ先：修理相談窓口

フリーダイヤル：0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599

ホームページ：<https://www.sony.jp/support/>

ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所 お名前	電話	様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

(1)本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障(損傷)(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障(損傷)(6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障(損傷)(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障(損傷)(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障(損傷)(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

* 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 TO2-5

主な特長

- 電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぐパワーオートオフ機能(約110～130分)。
- 雑音を低減して放送を聞きやすくするノイズカット機能搭載。
- 放送を受信すると同調インジケーターが点灯。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたしないでください。
故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
— 温度が非常に高いところ(40°C以上)や低いところ(0°C以下)。
— 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
— 風呂場など湿気の多いところ。
— 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
— ほこりの多いところ。
- ラジオの内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 水がかかるないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。
特に以下の場合ご注意ください。
— 洗面所などでポケットに入れての使用。
身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
— 雨や雪、湿気の多い場所での使用。
— 汗をかく状況での使用。
ぬれた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。

イヤーレシーバーについて

- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- モノラルイヤーレシーバーをお使いになるときは、常によい音でお聞きいただくために、モノラルイヤーレシーバープラグをときどき柔らかい布でからぶきし清潔に保ってください。
- 交通安全のため、自転車やバイク、自動車などを運転中はご使用にならないでください。
- 踏切や駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではイヤーレシーバーを使用しないでください。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、ソニーサービス窓口に相談してください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがあります。これはイヤーレシーバーの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。

静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数

FM：76 MHz～108 MHz

AM：530 kHz～1,605 kHz

スピーカー
出力端子直径約2.8 cm、丸型7.2 Ω 1個
②(イヤーレシーバー)端子
(ミニジャックΦ3.5 mm)1個

実用最大出力

80 mW (JEITA*)

電源

DC 3 V、単4形乾電池2本

パワーオートオフ機能

約110～130分

最大外形寸法

約56 mm × 91.6 mm × 13 mm(突起部含む)

(幅/高さ/奥行き)

約55 mm × 91 mm × 12.4 mm(突起部含

ます)(幅/高さ/奥行き)

質量

約69 g(乾電池、イヤーレシーバー含む)

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

付属品

ソニー単4形乾電池(2)(お試し用*)

キャリングケース(1)

イヤーレシーバー(1)

イヤーパッド(1)

取扱説明書・保証書(1)

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するためには必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

型名：ICF-T46

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル………0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話………050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル………0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話………050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通)0120-333-389

左記番号へ接続後、

最初のガイダンスが

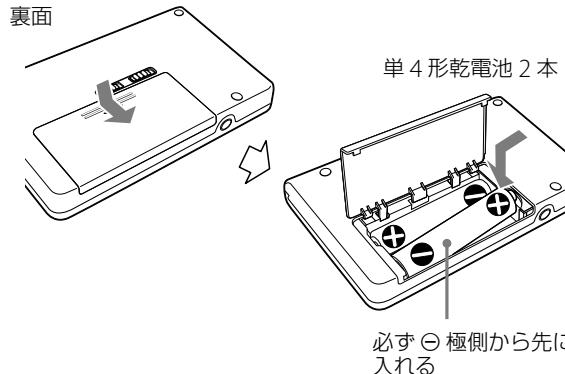
流れている間に

「304」+「#」

を押してください。

直接、担当窓口へおつなぎします。

乾電池を入れる



- 1 電池入れのふたを開ける。
- 2 ソニー単4形乾電池2本を、+と-の向きを正しく入れる。
- 3 電池入れのふたを閉める。

乾電池の持続時間 (JEITA*) (単位: 約 時間)

放送の種類	FM	AM	
ソニー単4形 (LR03) アルカリ 乾電池	イヤーレシーバー使用時 スピーカー使用時	120 44	170 46

* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗していくと音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

電源が突然切ってしまった!

パワーオートオフ機能が働いています。

電池のむだな消耗を防ぐために自動的に電源が切れるようになっています (パワーオートオフ機能)。

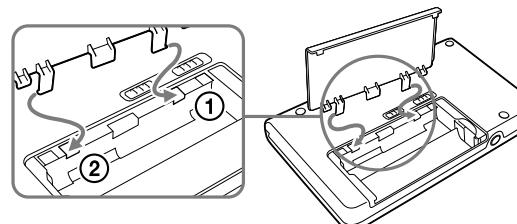
電源が切れるまでの時間は電池残量により異なり、約110~130分後です。

電源 (パワーオートオフ) ボタンを押しても電源が入らない場合や、すぐに電源が切れる場合は、電池がカラになっているので新しい電池と交換してください。

電源が切れた後、さらにお聞きになりたいときは、もう一度電源 (パワーオートオフ) ボタンを押します。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、図のように取り付けてください。



受信状態をよくする

携帯電話の近くでラジオに雑音が入る場合は、携帯電話の電源を切るか、ラジオから離してみてください。

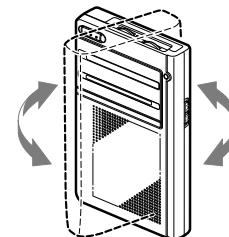
FM放送の場合

FM放送を聞くときは、お使いのイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。イヤーレシーバーのコードができるだけ長く伸ばしてお使いください。

スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードができるだけ長く伸ばしてお使いください。

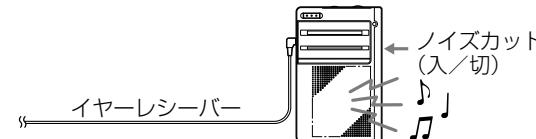
AM放送の場合

アンテナを内蔵しているので、ラジオ本体の向きを変えて、もっとも良く受信できる方向にしてお聞きください。



電波が弱く、雑音が気になるときは

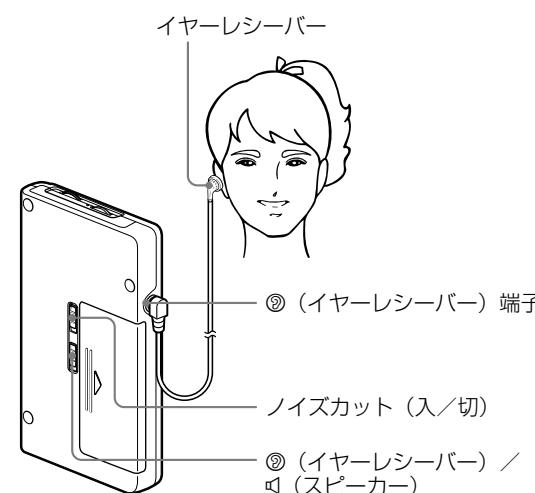
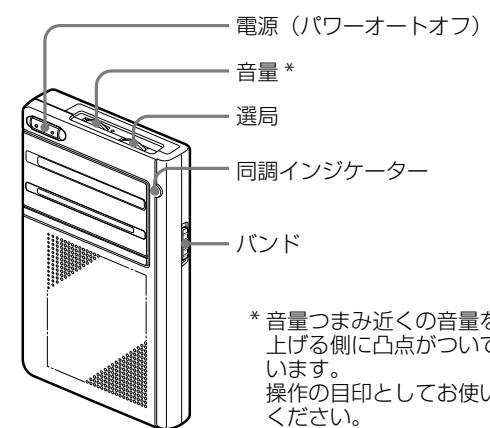
ノイズカットスイッチを「入」に合わせてください。



- 乗り物やビルの中では電波が弱められますので、できるだけ窓際でお聞きください。

ラジオを聞く

スピーカーまたは付属のイヤーレシーバーで聞くことができます。



- 1 電源 (パワーオートオフ) ボタンを押して電源を入れる。

- 2 ② (イヤーレシーバー) / ④ (スピーカー) 切り替えスイッチで ② または ④ を選ぶ。

- 3 バンド切り替えスイッチで FM または AM 放送を選ぶ。

- 4 選局つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ。

放送を受信すると同調インジケーターが点灯します。

- 5 音量つまみで音量を調節する。

ご注意

- ② を選ぶとスピーカーから音は出ません。
- FM 放送を聞くときは、イヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードができるだけ長く伸ばしてお聞きください。

電源を切るときは

電源 (パワーオートオフ) ボタンを押します。

イヤーレシーバーが耳にぴったり合わないときは

付属のイヤーパッドを使います。

